

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第67期第3四半期（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）
【会社名】	株式会社 銀座山形屋
【英訳名】	GINZA YAMAGATAYA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山形 政弘
【本店の所在の場所】	東京都中央区築地三丁目5番4号
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都練馬区関町北二丁目3番20号(管理部)
【電話番号】	03(6680)8711(代表)
【事務連絡者氏名】	管理部長 渡辺 光潤
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

第57期（平成13年3月31日）から退職給付に係る会計基準（「退職給付に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成10年6月16日）を適用し、会計基準変更時差異（218,821千円）を一括費用処理していましたが、一部従業員（定年退職者等）の退職給付引当金の計上に関して、会社都合要支給額に基づく退職給付引当金を計上すべきところを、自己都合要支給額に基づき退職給付引当金を計上していたことにより、退職金給付引当金の計上不足の状態になっていました。

その不足額につき過年度訂正報告が必要との判断に至り、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、当社として今回の訂正を行うことといたしました。

なお、本件発生原因は、経理部門・人事部門と社外専門家とのコミュニケーション不足並びに基礎資料のチェック不足等が主たる要因と考えます。今後は関係者間のコミュニケーションの充実、基礎資料の妥当性・算出プロセスのダブルチェック等の励行を強化し再発防止に努めます。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

#### 第4 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

###### (1) 四半期連結貸借対照表

###### (2) 四半期連結損益計算書

##### 第3 四半期連結累計期間

###### 第3 四半期連結会計期間

###### (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

##### 注記事項

###### (四半期連結損益計算書関係)

###### (1株当たり情報)

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第66期 第3四半期連結 累計期間	第67期 第3四半期連結 累計期間	第66期 第3四半期連結 会計期間	第67期 第3四半期連結 会計期間	第66期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(千円)	3,654,295	3,416,019	1,480,122	1,357,930	4,794,705
経常利益又は経常損失( ) (千円)	<u>72,302</u>	<u>63,516</u>	<u>125,200</u>	<u>114,909</u>	<u>183,840</u>
四半期(当期)純利益又は四半期 (当期)純損失( )(千円)	<u>122,691</u>	<u>275,700</u>	<u>75,559</u>	<u>115,912</u>	<u>218,085</u>
純資産額(千円)	-	-	<u>3,195,234</u>	<u>2,817,606</u>	<u>3,129,270</u>
総資産額(千円)	-	-	4,722,543	4,494,414	4,294,216
1株当たり純資産額(円)	-	-	<u>185.04</u>	<u>163.17</u>	<u>181.22</u>
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期(当期)純損失金 額( )(円)	<u>7.10</u>	<u>15.97</u>	<u>4.38</u>	<u>6.71</u>	<u>12.63</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	<u>67.7</u>	<u>62.7</u>	<u>72.9</u>
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	165,578	117,850	-	-	74,692
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	129,081	20,224	-	-	133,107
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,058	2,853	-	-	1,854
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	917,431	815,611	680,390
従業員数(人)	-	-	386	375	381

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第66期第3四半期連結会計期間及び第67期第3四半期連結会計期間は潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第66期第3四半期連結累計期間、第67期第3四半期連結累計期間及び第66期は、1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

回次	第66期 第3四半期連結 累計期間	第67期 第3四半期連結 累計期間	第66期 第3四半期連結 会計期間	第67期 第3四半期連結 会計期間	第66期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
売上高(千円)	3,654,295	3,416,019	1,480,122	1,357,930	4,794,705
経常利益又は経常損失( ) (千円)	<u>83,598</u>	<u>53,068</u>	<u>114,102</u>	<u>120,551</u>	<u>189,880</u>
四半期(当期)純利益又は四半期 (当期)純損失( )(千円)	<u>133,988</u>	<u>265,252</u>	<u>64,461</u>	<u>121,554</u>	<u>224,124</u>
純資産額(千円)	-	-	<u>3,065,681</u>	<u>2,703,758</u>	<u>3,004,975</u>
総資産額(千円)	-	-	4,722,543	4,494,414	4,294,216
1株当たり純資産額(円)	-	-	<u>177.54</u>	<u>156.59</u>	<u>174.02</u>

回次	第66期 第3四半期連結 累計期間	第67期 第3四半期連結 累計期間	第66期 第3四半期連結 会計期間	第67期 第3四半期連結 会計期間	第66期
会計期間	自平成21年 4月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成21年 4月1日 至平成22年 3月31日
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期(当期)純損失金 額( )(円)	<u>7.76</u>	<u>15.36</u>	<u>3.73</u>	<u>7.04</u>	<u>12.98</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	<u>64.9</u>	<u>60.2</u>	<u>70.0</u>
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	165,578	117,850	-	-	74,692
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	129,081	20,224	-	-	133,107
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,058	2,853	-	-	1,854
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	917,431	815,611	680,390
従業員数(人)	-	-	386	375	381

～後略～

## 第2【事業の状況】

### 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

(訂正前)

～前略～

このような状況のなか、当社グループにおきましては売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の削減等を行いました。退店等の影響により当第3四半期連結会計期間における売上高は、13億5千7百万円(前年同四半期比8.3%減)となりました。損益面につきましては、営業利益9千1百万円(前年同四半期比19.2%減)、経常利益1億1千4百万円(前年同四半期比8.2%減)、四半期純利益につきましては1億1千5百万円(前年同四半期比53.4%増)となりました。

セグメント別では、小売事業が売上高が6億2千6百万円、営業利益0百万円、卸売事業が売上高5億3千9百万円、営業利益1千6百万円、受託縫製事業が売上高1億8千3百万円、営業利益6千6百万円となりました。

～後略～

#### (2)キャッシュ・フローの状況

～前略～

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億6千7百万円の増加(前年同四半期は2億6千8百万円の増加)となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益1億1千8百万円の計上や仕入債務の増加2億2千4百万円があった一方で、売上債権の増加による資金の減少1億8千9百万円があったことが主な要因であります。

～後略～

(訂正後)

～前略～

このような状況のなか、当社グループにおきましては売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費の削減等を行いました。退店等の影響により当第3四半期連結会計期間における売上高は、13億5千7百万円(前年同四半期比8.3%減)となりました。損益面につきましては、営業利益9千6百万円(前年同四半期比4.8%減)、経常利益1億2千万円(前年同四半期比5.7%増)、四半期純利益につきましては1億2千1百万円(前年同四半期比88.6%増)となりました。

セグメント別では、小売事業が売上高が6億2千6百万円、営業利益0百万円、卸売事業が売上高5億3千9百万円、営業利益1千6百万円、受託縫製事業が売上高1億8千3百万円、営業利益6千8百万円となりました。

～後略～

#### (2)キャッシュ・フローの状況

～前略～

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億6千7百万円の増加(前年同四半期は2億6千8百万円の増加)となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益1億2千3百万円の計上や仕入債務の増加2億2千4百万円があった一方で、売上債権の増加による資金の減少1億8千9百万円があったことが主な要因であります。

～後略～

## 第5【経理の状況】

(訂正前)

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

(訂正後)

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受け、四半期レビュー報告書を受領しています。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	815,611	680,390
受取手形及び売掛金	2 581,798	537,007
商品及び製品	176,631	148,151
仕掛品	18,159	20,163
原材料	147,918	125,720
その他	208,438	63,144
貸倒引当金	2,512	2,426
流動資産合計	1,946,045	1,572,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	154,561	145,709
その他(純額)	276,192	267,711
有形固定資産合計	1 430,754	1 413,420
無形固定資産		
その他	10,776	7,201
無形固定資産合計	10,776	7,201
投資その他の資産		
投資有価証券	1,057,515	1,086,863
敷金及び保証金	830,818	989,090
その他	348,037	356,758
貸倒引当金	129,532	131,270
投資その他の資産合計	2,106,839	2,301,441
固定資産合計	2,548,369	2,722,063
資産合計	4,494,414	4,294,216
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	371,565	176,840
未払法人税等	6,791	11,125
ポイント引当金	44,172	36,914
その他	434,582	343,488
流動負債合計	857,111	568,367
固定負債		
退職給付引当金	489,469	478,343
役員退職慰労引当金	87,946	91,869
資産除去債務	221,772	-
その他	20,509	26,364
固定負債合計	819,696	596,577
負債合計	1,676,808	1,164,945

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
資本剰余金	882,948	882,948
利益剰余金	646,728	371,027
自己株式	79,200	79,151
株主資本合計	2,884,580	3,160,329
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	66,974	31,058
評価・換算差額等合計	66,974	31,058
純資産合計	2,817,606	3,129,270
負債純資産合計	4,494,414	4,294,216

(訂正後)

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	815,611	680,390
受取手形及び売掛金	2 581,798	537,007
商品及び製品	176,631	148,151
仕掛品	18,159	20,163
原材料	147,918	125,720
その他	208,438	63,144
貸倒引当金	2,512	2,426
流動資産合計	1,946,045	1,572,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	154,561	145,709
その他(純額)	276,192	267,711
有形固定資産合計	1 430,754	1 413,420
無形固定資産		
その他	10,776	7,201
無形固定資産合計	10,776	7,201
投資その他の資産		
投資有価証券	1,057,515	1,086,863
敷金及び保証金	830,818	989,090
その他	348,037	356,758
貸倒引当金	129,532	131,270
投資その他の資産合計	2,106,839	2,301,441
固定資産合計	2,548,369	2,722,063
資産合計	4,494,414	4,294,216
負債の部		
流動負債		
買掛金	371,565	176,840
未払法人税等	6,791	11,125
ポイント引当金	44,172	36,914
その他	434,582	343,488
流動負債合計	857,111	568,367
固定負債		
退職給付引当金	603,316	602,639



役員退職慰労引当金	87,946	91,869
資産除去債務	221,772	-
その他	20,509	26,364
固定負債合計	<u>933,544</u>	<u>720,873</u>
負債合計	<u>1,790,655</u>	<u>1,289,241</u>

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
資本剰余金	882,948	882,948
利益剰余金	<u>760,575</u>	<u>495,323</u>
自己株式	79,200	79,151
株主資本合計	<u>2,770,733</u>	<u>3,036,034</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	66,974	31,058
評価・換算差額等合計	<u>66,974</u>	<u>31,058</u>
純資産合計	<u>2,703,758</u>	<u>3,004,975</u>
負債純資産合計	<u>4,494,414</u>	<u>4,294,216</u>

## (2)【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,654,295	3,416,019
売上原価	1,739,646	1,590,692
売上総利益	1,914,649	1,825,327
販売費及び一般管理費	2,041,711	1,955,858
営業損失( )	127,062	130,531
営業外収益		
受取利息	2,517	2,141
受取配当金	29,194	39,189
受取手数料	11,367	10,462
投資事業組合運用益	-	665
雑収入	13,166	19,772
営業外収益合計	56,245	72,232
営業外費用		
支払利息	324	415
投資事業組合運用損	59	-
雑損失	1,101	4,802
営業外費用合計	1,485	5,217
経常損失( )	72,302	63,516
特別利益		
貸倒引当金戻入額	17,246	1,652
資産除去債務履行差額	-	1,006
特別利益合計	17,246	2,658
特別損失		
固定資産除却損	104	564
投資有価証券評価損	1,293	-
固定資産処分損	33,585	976
減損損失	21,626	450
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	206,376
特別損失合計	56,609	208,368
税金等調整前四半期純損失( )	111,665	269,226
法人税、住民税及び事業税	11,026	6,473
法人税等合計	11,026	6,473
少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	275,700
四半期純損失( )	122,691	275,700

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	3,654,295	3,416,019
売上原価	1,736,017	1,586,788
売上総利益	1,918,277	1,829,231
販売費及び一般管理費	2,056,636	1,949,313
営業損失( )	138,359	120,082
営業外収益		
受取利息	2,517	2,141
受取配当金	29,194	39,189
受取手数料	11,367	10,462
投資事業組合運用益	-	665

雑収入	13,166	19,772
営業外収益合計	56,245	72,232
営業外費用		
支払利息	324	415
投資事業組合運用損	59	-
雑損失	1,101	4,802
営業外費用合計	1,485	5,217
経常損失( )	83,598	53,068
特別利益		
貸倒引当金戻入額	17,246	1,652
資産除去債務履行差額	-	1,006
特別利益合計	17,246	2,658
特別損失		
固定資産除却損	104	564
投資有価証券評価損	1,293	-
固定資産処分損	33,585	976
減損損失	21,626	450
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	206,376
特別損失合計	56,609	208,368
税金等調整前四半期純損失( )	122,961	258,778
法人税、住民税及び事業税	11,026	6,473
法人税等合計	11,026	6,473
少数株主損益調整前四半期純損失( )	-	265,252
四半期純損失( )	133,988	265,252

【第3四半期連結会計期間】  
(訂正前)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,480,122	1,357,930
売上原価	<u>667,166</u>	<u>597,518</u>
売上総利益	<u>812,955</u>	<u>760,411</u>
販売費及び一般管理費	<u>700,198</u>	<u>669,297</u>
営業利益	<u>112,756</u>	<u>91,114</u>
営業外収益		
受取利息	624	486
受取配当金	5,256	8,610
受取手数料	4,585	3,968
助成金収入	-	6,920
雑収入	2,227	4,077
営業外収益合計	<u>12,694</u>	<u>24,062</u>
営業外費用		
支払利息	119	130
雑損失	130	137
営業外費用合計	<u>250</u>	<u>267</u>
経常利益	<u>125,200</u>	<u>114,909</u>
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	13	-
貸倒引当金戻入額	3,884	3,283
特別利益合計	<u>3,897</u>	<u>3,283</u>
特別損失		
固定資産処分損	33,585	-
減損損失	13,144	78
特別損失合計	<u>46,729</u>	<u>78</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>82,368</u>	<u>118,114</u>
法人税、住民税及び事業税	6,809	2,202
法人税等合計	6,809	2,202
少数株主損益調整前四半期純利益	-	<u>115,912</u>
四半期純利益	<u>75,559</u>	<u>115,912</u>

## (訂正後)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,480,122	1,357,930
売上原価	<u>667,344</u>	<u>595,719</u>
売上総利益	<u>812,777</u>	<u>762,211</u>
販売費及び一般管理費	<u>711,119</u>	<u>665,454</u>
営業利益	<u>101,658</u>	<u>96,756</u>
営業外収益		
受取利息	624	486
受取配当金	5,256	8,610
受取手数料	4,585	3,968
助成金収入	-	6,920
雑収入	2,227	4,077
営業外収益合計	<u>12,694</u>	<u>24,062</u>
営業外費用		
支払利息	119	130
雑損失	130	137

営業外費用合計	250	267
経常利益	<u>114,102</u>	<u>120,551</u>
特別利益		
投資有価証券評価損戻入益	13	-
貸倒引当金戻入額	3,884	3,283
特別利益合計	<u>3,897</u>	<u>3,283</u>
特別損失		
固定資産処分損	33,585	-
減損損失	13,144	78
特別損失合計	<u>46,729</u>	<u>78</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>71,270</u>	<u>123,756</u>
法人税、住民税及び事業税	6,809	2,202
法人税等合計	<u>6,809</u>	<u>2,202</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	-	<u>121,554</u>
四半期純利益	<u>64,461</u>	<u>121,554</u>

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】  
(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失( )	111,665	269,226
減価償却費	30,067	37,625
減損損失	21,626	450
貸倒引当金の増減額( は減少)	17,246	1,652
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	730	3,923
退職給付引当金の増減額( は減少)	4,830	11,125
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	206,376
受取利息及び受取配当金	31,712	41,331
支払利息	324	415
売上債権の増減額( は増加)	13,014	51,419
たな卸資産の増減額( は増加)	48,090	48,672
仕入債務の増減額( は減少)	215,250	194,724
その他	74,696	51,202
小計	142,163	85,695
利息及び配当金の受取額	31,717	41,334
利息の支払額	324	415
法人税等の支払額	7,978	8,764
営業活動によるキャッシュ・フロー	165,578	117,850
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	11,604	47,720
投資有価証券の取得による支出	1,328	2,087
敷金及び保証金の回収による収入	131,745	63,046
敷金及び保証金の差入による支出	188	3,964
出資金の回収による収入	4,500	-
貸付金の回収による収入	8,823	18,313
その他	2,867	7,363
投資活動によるキャッシュ・フロー	129,081	20,224
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	120	48
リース債務の返済による支出	938	2,804
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,058	2,853
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	293,600	135,221
現金及び現金同等物の期首残高	623,830	680,390
現金及び現金同等物の四半期末残高	917,431	815,611

## (訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失( )	122,961	258,778
減価償却費	30,067	37,625
減損損失	21,626	450
貸倒引当金の増減額( は減少)	17,246	1,652
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	730	3,923
退職給付引当金の増減額( は減少)	6,465	677
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	206,376
受取利息及び受取配当金	31,712	41,331
支払利息	324	415
売上債権の増減額( は増加)	13,014	51,419

たな卸資産の増減額（ は増加）	48,090	48,672
仕入債務の増減額（ は減少）	215,250	194,724
その他	74,696	51,202
小計	142,163	85,695
利息及び配当金の受取額	31,717	41,334
利息の支払額	324	415
法人税等の支払額	7,978	8,764
営業活動によるキャッシュ・フロー	165,578	117,850
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	11,604	47,720
投資有価証券の取得による支出	1,328	2,087
敷金及び保証金の回収による収入	131,745	63,046
敷金及び保証金の差入による支出	188	3,964
出資金の回収による収入	4,500	-
貸付金の回収による収入	8,823	18,313
その他	2,867	7,363
投資活動によるキャッシュ・フロー	129,081	20,224
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	120	48
リース債務の返済による支出	938	2,804
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,058	2,853
現金及び現金同等物の増減額（ は減少）	293,600	135,221
現金及び現金同等物の期首残高	623,830	680,390
現金及び現金同等物の四半期末残高	917,431	815,611

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

(訂正前)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。
給与手当 748,636千円	給与手当 742,279千円
賃借料 406,944千円	賃借料 360,039千円
退職給付費用 29,880千円	退職給付費用 26,823千円
役員退職慰労引当金繰入額 4,215千円	役員退職慰労引当金繰入額 2,376千円
ポイントカード引当金繰入額 4,376千円	ポイントカード引当金繰入額 7,257千円

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。
給与手当 248,634千円	給与手当 245,725千円
賃借料 135,623千円	賃借料 115,300千円
退職給付費用 7,155千円	退職給付費用 11,531千円
役員退職慰労引当金繰入額 1,144千円	役員退職慰労引当金繰入額 1,202千円
ポイントカード引当金繰入額 496千円	ポイントカード引当金繰入額 2,726千円

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。
給与手当 748,636千円	給与手当 742,279千円
賃借料 406,944千円	賃借料 360,039千円
退職給付費用 44,805千円	退職給付費用 20,278千円
役員退職慰労引当金繰入額 4,215千円	役員退職慰労引当金繰入額 2,376千円
ポイントカード引当金繰入額 4,376千円	ポイントカード引当金繰入額 7,257千円

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額 は、次のとおりであります。
給与手当 248,634千円	給与手当 245,725千円
賃借料 135,623千円	賃借料 115,300千円
退職給付費用 18,076千円	退職給付費用 7,688千円
役員退職慰労引当金繰入額 1,144千円	役員退職慰労引当金繰入額 1,202千円
ポイントカード引当金繰入額 496千円	ポイントカード引当金繰入額 2,726千円



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

～前略～

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,652,725	1,283,935	457,196	3,393,857	22,162	3,416,019
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	1,524,970	1,524,970	1,524,970	-
計	1,652,725	1,283,935	1,982,167	4,918,827	1,502,807	3,416,019
セグメント利益又は損失( )	144,475	39,471	8,830	175,116	29,294	145,822

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	626,478	539,116	183,524	1,349,119	8,811	1,357,930
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	604,597	604,597	604,597	-
計	626,478	539,116	788,121	1,953,716	595,786	1,357,930
セグメント利益	142	16,728	66,818	83,690	9,360	93,051

～中略～

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	175,116
「その他」の区分の利益	29,294
セグメント間取引消去	4,282
棚卸資産の調整額	204
その他の調整額	10,804
四半期連結損益計算書の営業損失( )	130,531

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	83,690
「その他」の区分の利益	9,360
セグメント間取引消去	1,427
棚卸資産の調整額	230
その他の調整額	3,133
四半期連結損益計算書の営業利益	91,114

～後略～

(訂正後)

～前略～

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,652,725	1,283,935	457,196	3,393,857	22,162	3,416,019
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	1,524,970	1,524,970	1,524,970	-
計	1,652,725	1,283,935	1,982,167	4,918,827	1,502,807	3,416,019
セグメント利益又は損失( )	144,650	40,691	12,733	172,608	37,234	135,374

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	626,478	539,116	183,524	1,349,119	8,811	1,357,930
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	604,597	604,597	604,597	-
計	626,478	539,116	788,121	1,953,716	595,786	1,357,930
セグメント利益	86	16,614	68,617	85,319	13,373	98,693

～中略～

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	172,608
「その他」の区分の利益	37,234
セグメント間取引消去	4,282
棚卸資産の調整額	204
その他の調整額	10,804
四半期連結損益計算書の営業損失( )	120,082

当第3四半期連結会計期間(自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	85,319
「その他」の区分の利益	13,373
セグメント間取引消去	1,427
棚卸資産の調整額	230
その他の調整額	3,133
四半期連結損益計算書の営業利益	96,756

～後略～

(1株当たり情報)

(訂正前)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額	1株当たり純資産額
163.17円	181.22円

2. 1株当たり四半期純損失金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	1株当たり四半期純損失金額
7.10円	15.97円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額		
四半期純損失(千円)	122,691	275,700
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失(千円)	122,691	275,700
期中平均株式数(千株)	17,268	17,267

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	1株当たり四半期純利益金額
4.38円	6.71円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	75,559	115,912
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	75,559	115,912
期中平均株式数(千株)	17,268	17,267

(訂正後)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日)
1株当たり純資産額	1株当たり純資産額
156.59円	174.02円

2. 1株当たり四半期純損失金額

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額	1株当たり四半期純損失金額
7.76円	15.36円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額		
四半期純損失(千円)	133,988	265,252
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失(千円)	133,988	265,252
期中平均株式数(千株)	17,268	17,267

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額 3.73円	1株当たり四半期純利益金額 7.04円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	64,461	121,554
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	64,461	121,554
期中平均株式数(千株)	17,268	17,267

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

株式会社 銀座 山 形 屋

取締役会

御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 齋藤 淳 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 平野雄二 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銀座山形屋の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銀座山形屋及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出事由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成22年2月9日に四半期レビュー報告書を提出した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

株式会社 銀座 山 形 屋

取締役会

御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	齋藤 淳	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	平野雄二	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銀座山形屋の平成22年4月1日から平成23年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年10月1日から平成22年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銀座山形屋及び連結子会社の平成22年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出事由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年2月10日に四半期レビュー報告書を提出した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。